

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	現代の国語	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	改訂版 現代の国語(数研出版)		副教材等	普通: 大学入試の核心漢字と語彙3750 現代文読解のテーマとキーワード スポコ: 総合文字カ・プレミアムカラー国語便覧	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、話の構成を工夫している。	文章の内容を踏まえ、積極的に具体的事例などを用いて考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	文化 「水の東西」	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○			・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	
					○	・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し適切に説明しようとしている。	
	社会 一人の中にある無限	・意味段落のまとまりを意識して読み、多様性について理解を深める。	○			・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	
				○		・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	
					○	・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
	環境 未来世代への脅威	・環境問題に関する文章について、意味段落のまとまりを意識して読み、未来への思索を深める。	○			・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	
				○		・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	
					○	・文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	
	経済 「わらしべ長者」の経済学	・経済学の原則を「わらしべ長者」の昔話をういた文章から読み取る。	○			・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	
				○		・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。	
					○	・自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
8 9 10	情報 ポスト・プライバシー 統計資料	・「アイデンティティ」が、個人自らがつくるのではなく、情報システムの中で作られていることを理解し資料から読み取る。	○			・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		・「書くこと」で、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	
					○	・具体的な話題について、マス・メディアに掲載された情報と、インターネット上で個人が発信している情報とを積極的に集め、課題に沿って考えたことをまとめようとしている。	
思想 時間と自由の関係について	・「自由な時間とはどういうことか」という哲学的問題についての筆者の意見を読み取る。	○			・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。		
			○		・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。		
				○	・同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。		
言語 ものことば	・「ものやことばによってはじめて認識される」という「唯名論」的言語論の基本を理解する。	○			・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。		
			○		・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。		
				○	・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。		
11 12	芸術 絵を前に思いをめぐらす	・芸術分野に対する関心を高め、身近な絵画や写真の中から、良いと思った作品を選び、自分の考えを発表する。	○			・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	
				○		・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	
					○	・テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを発表しようとしている。	
思想 他者を理解すること	・他者理解の難しさと我々が取るべき態度について、哲学者である筆者の意見を読み取る。	○			・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。		
			○		・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。		
				○	・論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。		
1 2 3	生命 命は誰のものなのか	・近年注目される「命の自己決定権」、正解のない問題について考察した筆者の意見を読み取る。	○			・主張と論拠など情報とその関係について理解している。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		・「書くこと」において、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	
					○	・筆者の意見を参考にしながら、根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	
思想 無痛化する社会のゆくえ	・各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・本文と「ウェルビーイング」に関する資料を参考にしながら、「幸福とは何か」というテーマで意見文を書く。	○			・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。		
			○		・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。		
				○	・関連する二つの論理的文章を積極的に読み比べることで自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。		

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	言語文化	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	改訂版 高等学校 言語文化(数研)		副教材等	総合文字力 国語必携ライトパーフェクト演習(尚文出版) 改訂版 プレミアムカラー国語便覧(数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に把握し効果的に表現する資質。能力を育成することを旨とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</li> <li>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</li> </ul>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	古 古文入門「児のそら寝」 「検非違使忠明」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むのに必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</li> <li>・内容や構成、展開を的確に読み取り、作品に表れているものの見方、考え方を捉える。</li> </ul>	○			歴史的仮名遣いのきまりや、古典特有の表現、用言の活用について理解している。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		登場人物の心情の変化や行動の理由について読み取ることができる。	
					○	進んで歴史的仮名遣いを理解し、説話の面白さを読み取り、他者に説明できる。	
	漢 漢文入門「漢文の世界へ」 「漢文の基本構造と訓読」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。</li> <li>・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。</li> </ul>	○			中国の古典が日本に輸入され、訓読の仕組みが生まれた歴史を理解している。	
				○		漢文の内容を読み取り、自分のものの見方や考え方を深めることができる。	
					○	故事成語が現代の日本語ではどのように使われるかを確認し、活用できる。	
	古 物語「筒井筒」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</li> </ul>	○			『伊勢物語』について構成や内容、当時の恋愛や貴族の生活について理解している。	
				○		本文中の重要語句や助動詞、助詞、和歌の修辭に着目して、本文の内容を把握できる。	
					○	「男」の心情の変化や行動について、本文を根拠に話し合うことができる。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
8 9 10	古歌物語「芥川」	・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	○			『伊勢物語』と作者について知識を深め、重要語句や助動詞を理解している。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		本文全体の内容と構成をつかみ、根拠を持って読解することができる。	
					○	本文に表れた作者の考えを、資料を基に他者と話し合うことができる。	
	漢歴史「管鮑之交」	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。	○			用いられている語句の意味や使われ方を理解している。	
				○		表現の工夫を読み取り、作者が描こうとしている主題を読み取ることができる。	
					○	読解を通して自らのものの見方、考え方を深め、意見文を書くことができる。	
	現小説「舟を編む」	・作品の内容を踏まえて、独自の観点からの辞書の編集方法を考える。	○			文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	
				○		作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	
					○	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	
11 12	漢故事「虎威借狐」	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。	○			中国の古典が日本に輸入され、訓読の仕組みが生まれた歴史を理解している。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		漢文の内容を読み取り、自分のものの見方や考え方を深めることができる。	
					○	故事成語が現代の日本語ではどのように使われるかを確認し、活用できる。	
	現小説「羅生門」	・作品に描かれた人間の孤独な葛藤を読み取り、自らのものの見方、考え方を深める。 ・物語展開の把握を通して、文学表現の理解力を養う。	○			物語の展開や、登場人物とその相互関係について理解している。	
				○		下人の心情の変化について、物語の展開に即して読み取ることができる。	
					○	物語の設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えることができる。	
1 2 3	現小説「山月記」	・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	○			語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期考査 課題 小テスト 授業態度
				○		他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	
					○	『山月記』と『人虎伝』の違いとその理由を考察しようとしている。	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	歴史総合	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	私たちの歴史総合(清水書院)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や特色などを、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	第1篇 第1章 歴史と私たち 日本とスポーツの歴史 第2章 歴史の特質と資料 8月15日とそれぞれの「終戦」	スポーツと歴史との関連を考察して表現し、日本と世界の歴史の繋がりを理解する。「終戦」の持つ意義などを考察・表現し、歴史が資料に基づき叙述されていることを理解する。	○			スポーツの歴史や「終戦」を基に、歴史が資料に基づき叙述されている事を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・プリント
				○		スポーツや「終戦」に関する複数の資料に着目して、資料の情報を考察し、表現している。	
					○	日本とスポーツの歴史や「終戦」の意味や意義について、主体的に追究しようとしている。	
5	第2編 第1章 17世紀までの世界 第2章 工業化と世界市場の形成	18世紀のアジアと欧米諸国における生産と流通、貿易などを基に、18世紀のアジアの経済・社会と欧米諸国との関りを多面的・多角的に理解する。	○			アジアと欧米諸国の貿易などの資料を基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	
				○		アジア諸国とその他の国・地域を比較し、関係性を多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	18世紀のアジアに関して、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
6	第3章 国民国家と立憲体制	市民革命や日本の明治維新を基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。列強の進出と植民地形成、日清・日露戦争などを基に、帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	○			市民革命や、日本の明治維新などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	
				○		アジア諸国とその他の国を比較し、国民国家の特徴について考察し、表現している。	
					○	国民国家と立憲体制に関して、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
7	第4章 帝国主義とアジア、アフリカの変容	平等と格差の観点から、鉄道建設と近代化を主題に設定し、主題について多面的・多角的に考察、表現し、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する。	○			平等と格差といった現代的諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	
			○		日本と清の鉄道建設の比較を通して鉄道建設と近代化について考察、表現している。		
8					○	鉄道建設と近代化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究しようとしている。	
9	第3編 第1章 第一次世界大戦と高祭社会 第2章 1920年代の世界と大衆の時代の到来	第一次世界大戦前後の歴史を通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制の成立や大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	○			第一次世界大戦の特質・展開や惨禍、大戦後の国際協調体制について理解する。	
				○		総力戦、国際協調体制の成立などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
					○	国際連盟や国際法の意義を理解し、国際社会の一員として、課題を追究しようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
10	第3章 国際協調の挫折と2度目の世界大戦	世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。	○			世界恐慌、第二次世界大戦などをもとに、当時の国際情勢や大戦の特徴を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・プリント
11				○		各国の世界恐慌への対応、国際協調体制の動揺などを考察し、表現している。	
						○	
12	第4章 世界大戦がもたらしたものの	統合と分化の観点から、ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化を主題に設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	○			ナショナリズムに基づく国家の統合や分化といった現代的諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・プリント
				○		現代のナショナリズムに着目して、ナショナリズムと国際秩序の変化や大衆化について多面的・多角的に考察し、表現している。	
						○	
1	第4編 第1章 冷戦と国際政治	脱植民地化、冷戦下の地域紛争、核兵器の管理などを基に、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々、欧米やソ連の政策転換などを多面的・多角的に考察することを通して、国際政治の変容を理解する。	○			脱植民地化、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・プリント
				○		地域紛争の背景、冷戦の影響などに着目し、地域紛争と冷戦の関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	
						○	
2	第2章 世界経済の拡大と日本 第3章 冷戦の終結とその後の世界	石油危機、アジアの諸地域の経済発展、冷戦終結などを基に、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。	○			石油危機、アジア諸地域の経済発展、冷戦終結などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。	定期考査 授業態度 ノート・プリント
				○		アジアの経済発展の背景、資源・エネルギーと地球環境問題、冷戦の変容と終結に関して、多面的・多角的に考察し、表現している。	
						○	
3	第4章 現代的な諸課題の形成と展望 移民	歴史総合の学習のまめとして、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、主題について多面的・多角的に考察、表現し、歴史的経緯を踏まえて現代的な諸課題を理解する。	○			歴史的経緯を踏まえて現代的な諸課題を理解するとともに、設定した主題に関連する諸資料を活用している。	定期考査 授業態度 ノート・プリント
				○		事象の背景や原因、結果や影響などに着目し、現代的な諸課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
						○	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	数学 I	単位数	5単位 (1～3学期)	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	改訂版 最新 数学 I (数研出版)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	第1章 数と式 第1節 数と式	式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	○			・因数分解の公式を用いて、式を因数分解できる。	定期考査 授業態度 課題 小テスト
				○		・式を1つの文字におき換えることによって、式の計算を簡略化することができる。	
					○	・単項式、多項式の整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。	
6	第2節 実数	数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	○			・平方根を含む式の計算ができる。分母の有理化の方法について理解している。	
				○		・平方根の性質や積と商などについて、一般化して考察できる。	
					○	・循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもつ。	
7	第3節 1次不等式	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	○			・不等式の性質、1次不等式の解法を理解し、1次不等式を解くことができる。	
				○		・不等式の性質を、数直線と対応させて考察できる。	
					○	・連立不等式の解を考察しようとする。	
8	第2章 集合と命題	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	○			・共通部分、和集合、補集合を求めることができる。	
				○		・ベン図などを用いて、集合を視覚的に考察することができる。	
					○	・日常語の「かつ」「または」との関連を認識しようとする。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9 10	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			・平方完成を利用して、 $y = ax^2 + bx + c$ の軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。	定期考査 授業態度 課題 小テスト
				○		・2次関数が最大値または最小値をもつことを、グラフを使って、理解しようとする。	
					○	・2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。	
11	第2節 2次方程式と2次不等式	2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	○			・2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解く方法を理解し、2次不等式を解くことができる。	
				○		・2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。	
					○	・2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。	
12 1	第4章 図形と計量 第1節 三角比	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	○			・三角比の相互関係を用いて、1つの値から残り2つの値を求めることができる。	
				○		・具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。	
					○	・ $\theta$ の三角比が与えられたときに $\theta$ を求める際、図を積極的に利用しようとする。	
2	第2節 正弦定理・余弦定理	図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力を培う。	○			・正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。	
				○		・三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。	
					○	・日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。	
3	第5章 データの分析	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を培う。	○			・平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。	
				○		・箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。	
					○	・データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	地学基礎	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	地学基礎(実教出版)		副教材等	ビジュアルプラス地学基礎ノート 改訂版 (実教出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、データの分析・解釈などの探究の方法を習得するとともに、何が分かるようになったかを表現することができる。	地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1章 地球の構成と運動 1節 地球の構造 1. 地球の形と大きさ 2. 地表のようす 3. 地球内部の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから見いだして理解する。</li> <li>地球の内部には層構造があり、その状態が異なることを理解する。</li> </ul>	○			地球内部の層構造とその状態および構成物質について理解している。	定期考査 授業態度 授業ノート 課題
				○		地殻やマントルを構成する岩石の特徴を見いだし、地球内部の密度や層構造について説明できる。	
					○	地球の形と大きさについて、どのような方法で調べたのか、また、実際の形や大きさはどうなのか、関心を持って意欲的に学習しようとする。	
5	2節 プレートの運動 1. プレートテクトニクス 2. 大地形の形成と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレートの分布と運動の様子を理解する。</li> </ul>	○			プレートの分布やプレート境界について理解するとともに、プレートの運動によって大地形が形成されることを理解している。	
				○		世界の地震分布と火山の地震の分布がプレート境界に対応することを見いだし、表現できる。	
					○	プレートの分布や運動がどのように大地形の形成や地質構造と関わっているのか、関心を持って意欲的に学習しようとする。	
6	3節 地震と火山 1. 地震活動 2. 火山活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>火山活動と地震の発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解する。</li> <li>火成岩については、組織と化学組成や鉱物の組合せに基づいて分類されること、及び多様な火成岩がマグマの性質と関係していることを理解する。</li> </ul>	○			火山活動や地震について、それらの現象がプレート運動と深く関連していることを理解している。	
				○		日本列島付近のプレート分布から、火山の分布とプレートの分布の関係について考察することができる。	
					○	火山活動や地震発生の仕組みについて関心を持ち、その分布や原因・災害などについて意欲的に学習しようとする。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
7 8	2章 大気と海洋 1節 大気と運動 1. 高度による気圧・気温の変化 2. 大気層構造 3. 大気中の水とその状態 4. 大気の状態	・大気層構造については、気圧や気温が高度とともに変化することや、対流圏、成層圏、中間圏、熱圏が気温の変化によって区分されていることを理解する。 ・対流圏では雲の発生や降水、成層圏ではオゾン層により紫外線が吸収されること、熱圏ではオーロラや流星が見られることなどを理解する。	○			・大気層構造について理解するとともに、各層の特徴や観測される現象について理解している。 ・相対湿度を求めることができ、その計算過程を説明できる。 ・気温や気圧が高度とともに変化することや大気層構造について関心を持ち、意欲的に学習しようとする。	定期考査 授業態度 授業ノート 課題
9 10 11	2節 大気の大循環 1. 地球のエネルギー収支 2. 大気エネルギー収支 3. 大気大循環 4. 温帯低気圧と熱帯低気圧 3節 海洋の構造と海水の運動 1. 海洋層構造 2. 海水の運動と循環 4節 日本の四季の気象と気候 1. 気象と気候 2. 日本の四季	・地球全体として大気を通して出入りする太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量が釣り合っていることを理解する。 ・水蒸気、二酸化炭素やメタンなどが温室効果をもたらしていることを理解する。 ・大気と海洋の大循環について理解する。	○			・大気と海洋の大循環について理解している。 ・各季節の典型的な天気図や衛星画像からそれぞれの季節の特徴を適切に読み取ることができる。 ・太陽放射と地球放射が地球全体で釣り合っていることについて関心を持ち、意欲的に学習しようとする。	
12 1	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生 1. 宇宙の姿 2. 天体の距離と光の速さ 3. ビッグバンから天体の誕生まで 2節 太陽の誕生 1. 現在の太陽 2. 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長 1. 太陽系の姿 2. 太陽系の誕生と惑星の分類 3. 地球の誕生と成長	・宇宙の誕生、及び太陽系の誕生について理解する。 ・ビッグバンについて理解し、宇宙の年齢と宇宙の誕生の過程で水素やヘリウムの原子がつけられたことを理解する。 ・太陽系の誕生について理解する。	○			・宇宙の誕生及び太陽系の誕生について一連の流れを理解している。 ・太陽系の惑星の特徴を理解し、地球型惑星と木星型惑星の違いについて説明することができる。 ・宇宙や太陽系、地球の誕生について関心を持ち、意欲的に学習しようとする。	
2 3	4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層のつき方 1. 地層のつき方 2. 堆積岩 3. 地層を調べる 2節 化石と地質時代の区分 1. 化石 2. 地層の対比と地質時代の区分 3節 古生物の変遷と地球環境 1. 初期生命と大気の変化 先カンブリア時代 2. 多様な生物の出現と脊椎動物の発展 古生代～中生代 3. 哺乳類の繁栄と人類の発展 新生代	・光合成生物の出現による酸素の増加やオゾン層の形成、オゾン層の形成による地表での紫外線の減少と生物の陸上進出について理解する。 ・古生代の三葉虫、フズリナ、イクチオステガ、リンボク、中生代の恐竜、アンモナイト、ソテツ、トリゴニア、新生代のイネ科などの被子植物、貨幣石、ピカリア、ナウマンゾウなど代表的な化石について理解する。	○			・各地質時代の出来事や特徴的な生物、化石について理解している。 ・堆積構造や地質構造を観察することで、堆積当時の環境や生じた地殻変動について適切に推定することができる。 ・地形や地層、化石について、それらが作られた環境や原因を学び、その特徴を学習しようとする。	定期考査 授業態度 授業ノート 課題

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	体育	単位数	3単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを目指す。 ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。 ・運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
評価の観点					
a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に学習に取り組む態度	
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身につけている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身につけている。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	体づくり運動	・心と体の関係に気づき、仲間と交流する。	○			・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わりを理解できる。	授業態度 学習カード
				○		・ねらいや体力の程度を踏まえ自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。	
				○	・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。		
5 6 7 8	器械運動 陸上競技(競走・跳躍・投擲) ダンスから選択	・(器械運動)技がよりよくてたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい演技する。 ・(陸上競技)記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につける。 ・(ダンス)感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊り方を身につけて交流や発表する。	○			・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えること。	
					○	・(器械運動)技が得意な楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。 ・(ダンス)感じを込めて踊ったり、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法を理解できる。	
						○	
					○	・(器械運動)技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できる。 ・(陸上競技)動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できる。 ・(ダンス)表現などの自己や仲間の課題を発見	

						し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できる。	
					○	・(器械運動・陸上競技・ダンス)自主的に取り組み、互いに助け合い教え合うことや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にできる。	
9	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○			・現代のスポーツは国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解できる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	
9 10 11 12	球技・武道から選択 球技(ゴール型・ネット型 ベースボール型) 武道(剣道・柔道)	・(球技)勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・(武道)勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、得意技などを用いた攻防を展開する。	○			・(球技)各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらをゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること、技術はボール操作とボールを持たない時の動きに大別できることが理解できる。 ・(武道)武道を学習することは自国の文化に誇りを持つことや国際社会で生きていく上で有意義であることを理解することができる。 ・(球技)ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面によりよいマナーや行為について自己を振り返ることができる。 ・(武道)見取り稽古などから合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ・(球技)主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするができる。 ・(武道)自主的に取り組むとともに相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にすることができる。	授業態度 学習カード
10 11	陸上競技(長距離走)	・記録の向上や競争を通して得られる楽しさや喜びに加えて、体力や技能の程度等に関わらず「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しさや喜びを味わう。	○			・リズムカルに腕を振り力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ・勝敗などを冷静に受け止めルールやマナーを大切にすることができる。	
2	体育理論	・スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から、多角的に思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造する主体となっていることに気づく。	○			・スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方を理解できる。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会にもたらす影響について理解できる。 ・体育理論の学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 学習カード
2 3	体づくり運動	・健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画たて、取り組む。	○			・リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通じて気づいたり関わりを理解することができる。 ・健康や安全を確保するために体力や体調に応じた運動の計画等について振り返ることができる。 ・一人一人の違いを大切にし、健康・安全を確保することができる。	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	保健	単位数	1単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)		副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館書店)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、その意義を理解すると共に、現代社会と健康についての基礎的な事項を理解し、知識を身につけ自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることを理解する。	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1 単元 現代社会と健康 1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方	・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。	○			・各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 授業態度 学習ノート
				○			
					○		
5	3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復	・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。	○			・がんには、様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
				○			
					○		
6	6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	・健康と運動の関係について説明できる。 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。	○			・生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
				○			
					○		
7 8	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・飲酒による健康への影響を説明できる。 ・薬物乱用が健康や社会に及ぼす影響について説明できる。	○			・喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、適切な対策が必要であることについて、言ったり書いたりしている。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理し、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
				○			
					○		

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 14精神疾患からの回復	・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。	○			・精神疾患の特徴や予防について、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 学習ノート
				○		・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
					○	・精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
10	15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症・エイズとその予防	・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。	○			・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 学習ノート
				○		・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
					○	・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
11	18健康に関する意志決定・行動選択 19健康に関する環境づくり	・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。	○			・健康を保持増進するには、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 学習ノート
				○		・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
					○	・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
12 1	2単元 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。	○			・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 学習ノート
					○	・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
					○	・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
2 3	4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	・応急手当の意義について説明できる。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。	○			・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 学習ノート
					○	・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
					○	・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	音楽 I	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース ・衛生看護科
使用教科書	高校生の音楽 I (教育芸術社)			副教材等	つどい(九州高等学校音楽教育研究会) Music Note (啓隆社)

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<p>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</p> <p>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	校歌・遠征歌	バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身に付け、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う。	○			・創意工夫をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	授業態度、 観察評価 ワークシート
				○		・音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	
					○	・正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	
5	創作 楽典	手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを用いて音色を工夫したり、リズムパターンを即興で変化させたりして、表現を創意工夫してリズム合奏する。	○			・曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解し、創意工夫して表現している。	
				○		・音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	
					○	・音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
6	鑑賞	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさに気づき、表現する。	○			・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	
				○		・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	
					○	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
7 8	蒼き故郷 楽典	鼻濁などの子音の発音について学ぶとともに、歌詞の内容や曲の背景を理解し、強弱などに注意して曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。	○			・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	授業態度、 観察評価 ワークシート
				○		・音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	
					○	・歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組みようとしている。	
9 10	ギター	ギターの基本的な奏法を理解し、表現を工夫して演奏する。	○			・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、楽器で表している。	
				○		・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて意図をもっている。	
					○	・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組みようとしている。	
11 12	合唱	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌う。	○			・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
				○		・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	
					○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組みようとしている。	
1	Caro mio ben 楽典	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱する。	○			・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	
				○		・リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	
					○	・イタリア語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組みようとしている。	
2 3	西洋音楽史 式歌	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌う。	○			・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	
				○		・音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	
					○	・曲の構成や音楽に込められた作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	美術 I	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	高校生の美術 I (日本文教出版)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</li> <li>・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> <li>・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</li> </ul>
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。</li> <li>・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</li> </ul>	<p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	(絵画) 鉛筆による表現 ・静物デッサン ・人物デッサン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象を見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成する。</li> <li>・表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。</li> <li>・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。</li> </ul>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象を見つめ感じ取ったことや考えたことから主題を生成している。</li> <li>・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</li> <li>・主体的に鉛筆による表現の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	授業態度 授業作品 レポート
8 9 10 11	(絵画) 切り絵による表現 ・五島の魅力を表現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や文化、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。</li> <li>・表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。</li> <li>・意図に応じて材料や用具の特性を生かし、主題を追求して創造的に表す。</li> </ul>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や文化、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。</li> <li>・意図に応じて材料や用具の特性を生かし、主題を追求して創造的に表している。</li> <li>・主体的に切り絵による表現の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	授業態度 授業作品 レポート
12 1 2 3	(デザイン) ペン画による表現 ・想像の世界を表現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成する。</li> <li>・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。</li> <li>・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。</li> </ul>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成している。</li> <li>・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。</li> <li>・主体的にペン画による表現の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	授業態度 授業作品 レポート
随時	(鑑賞) ・レオナルドダヴィンチの作品 ・ヨシタケシンスケの作品 ・長崎の世界文化遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。</li> <li>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。</li> <li>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</li> <li>・主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	授業態度 レポート

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	英語コミュニケーションI	単位数	3単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	VISTA English Communication I (三省堂)		副教材等	LEAP Basic (数研出版) VISTA English Communication I ワークブック (三省堂)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する知識を身につけ、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせて、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者とのかわりに着目して捉えることを通して、目的や場面、状況に応じた実践的なコミュニケーションに必要な資質・能力を育成することを目指す。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を深めており、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考え、話し手や書き手の意図などを的確に理解しており、また、これらを活用して表現している。	外国語の背景にある文化について理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	Lesson 1 The Aurora	オーロラについての対話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			春について、be 動詞・一般動詞の現在形に注意しながら、内容を読み取ることができる。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス評価
				○		色/春について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えることができる。	
					○	色/春について、基本的な語句や文を用いて、意欲的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。	
5	Lesson 2 Soy Meat	大豆ミートについての対話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			ディック・ブルーナーさんについて、be 動詞・一般動詞の過去形に注意しながら、内容を読み取ることができる。	
				○		ディック・ブルーナーさんについて、理解を深めるために、対話を読み取り、概要や要点を把握することができる。	
					○	ディック・ブルーナーさんについて、理解を深めるために、対話を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	
6	Lesson 3 Capsule Toys	カプセルトイについての対話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			おもしろいスポーツについて、進行形に注意しながら、内容を読み取ることができる。	
				○		スポーツについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話すことができる。	
					○	スポーツについて、基本的な語句や文を用いて、意欲的に自分の考えを話そうとしている。	
7 8	Lesson 4 Pictograms	ピクトグラムの役割についての発表から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			ピクトグラムの役割についての発表について、助動詞と動名詞に注意しながら、内容を読み取ることができる。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス評価
				○		オリジナルのピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて発表することができる。	
					○	オリジナルのピクトグラムについて、基本的な語句や文を用いて、意欲的に発表することができる。	
9	Lesson 5 We Are Part of Nature	岩合光照さんへのインタビューから、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			岩合光照さんへのインタビューについて、不定詞に注意しながら、内容を読み取ることができる。	
				○		岩合光照さんについて、理解を深めるために、インタビューを読み取り、概要や要点を把握することができる。	
					○	岩合光照さんについてのインタビューを読み取り、意欲的に概要や要点を把握しようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
10	Lesson 6 A Small, but Happy Country	世界で2番目に人口の少ないニウエについての対話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			マチュピチュについて、現在完了形に注意しながら、内容を読み取ることができる。	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス評価
				○		行ってみたい世界遺産について、基本的な語句や文を用いて相手に伝えることができる。	
					○	行ってみたい世界遺産について、基本的な語句や文を用いて、意欲的に相手に伝えようとしている。	
11	Lesson 7 AI and Sports Refereeing	AIと人間の審判についての会話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			AIについて、受け身に注意しながら、内容を読み取ることができる。	
				○		ロボットやAI製品について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えることができる。	
					○	ロボットやAI製品について、積極的に自分の考えを話したり、相手からの質問に意欲的に答えることができる。	
12	Lesson 8 Is There a Santa Claus?	サンタクロースについての発表から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			サンタクロースについて、関係代名詞に注意しながら、内容を読み取ることができる。	
				○		クリスマスプレゼントについて、基本的な語句や文を用いて、考えを話したり、相手からの質問に答えることができる。	
					○	クリスマスプレゼントについて、積極的に考えを話したり、相手からの質問に意欲的に答えることができる。	
1	Lesson 9 Kid's Guernica	ゲルニカについての発表から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			ゲルニカについて、分詞と関係副詞に注意しながら、内容を読み取ることができる。	
				○		ゲルニカに込められたメッセージが何かを考えながら読み、概要や要点を把握することができる。	
					○	ゲルニカに込められたメッセージが何かを主体的に考え、概要や要点を把握しようとしている。	
2 3	Lesson 10 Ethical Fashion	エシカルファッションについての対話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	○			エシカルファッションについて、比較の表現に注意しながら、内容を読み取ることができる。	
				○		環境にやさしいファッションとはどのようなものかを考え、基本的な語句や文を用いて自分の考えを相手に伝えることができる。	
					○	環境にやさしいファッションとはどのようなものかを考え、基本的な語句や文を用いて、意欲的に自分の考えを伝えようとしている。	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	論理・表現I	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	VISTA Logic and Expression I (三省堂)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	日常的な話題や社会的な話題について、英語によるディベートやディスカッションなどの活動を通して聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができることや文章を書いて伝えることができるようになることを目指す。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報を伝えるのに必要な英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を深めており、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現している。	英語で話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え 合ったりしようとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	Lesson 1 Bouldering? How nice!	「クラブ活動」や「高校でしてみたいこと」などについての表現を理解して、考えを深めることができる。	○			be動詞・一般動詞の現在形に関する事項を理解している。	定期考査 発問評価 提出物 パフォーマンス 評価
				○		基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えることができる。	
					○	基本的な語句や文を用いて、主体的に、自分の考えや気持ち、情報などを話したり、相手からの質問に答えようとしている。	
6 7	Lesson 2 Famous People	紹介したい「歴史上の人物」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	○			be動詞・一般動詞の過去形に関する事項を理解している。	
				○		基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えることができる。	
					○	基本的な語句や文を用いて、主体的に、自分の考えや気持ち、情報などを話したり、相手からの質問に答えようとしている。	
8 9 10	Lesson 3 Aquarium Adventure  Lesson 4 My summer Plan	「今していること」や「過去にしていたこと」および、「夏休みの予定」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	○			現在進行形・過去進行形・未来表現に関する事項を理解している。	
				○		基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えることができる。	
					○	基本的な語句や文を用いて、主体的に、自分の考えや気持ち、情報などを話したり、相手からの質問に答えようとしている。	
11 12 1	Lesson 5 UFO Sightings  Lesson 6 Homestay	「自分が経験したこと」および、「完了したこと」や「継続していること」についての表現を理解して、考えを深めることができる。	○			現在完了形に関する事項を理解している。	
				○		基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えることができる。	
					○	基本的な語句や文を用いて、主体的に、自分の考えや気持ち、情報などを話したり、相手からの質問に答えようとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
2 3	Lesson 7 Which is faster?	「いろいろなものの比較」 および、「紹介したい発明 品」についての表現を理 解して、考えを深めること ができる。	○			比較・助動詞に関する事項を理解している。	定期考査 発問評価 提出物 パフォーマンス 評価
			○		基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話したり、相手からの質問に答えることができる。		
				○	基本的な語句や文を用いて、主体的に、自分の考えや気持ち、情報などを話したり、相手からの質問に答えようとしている。		

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	家庭基礎	単位数	2単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	家庭基礎自立・共生・創造(東京書籍)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</li> <li>家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</li> <li>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</li> </ul>
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識とそれらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域、社会の生活における課題を設定して解決策の構想、実践、評価・改善を行い、考察を論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	家庭科を学ぶにあたって 学校家庭クラブとホームプロジェクトについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の意義や内容・方法・評価を理解する。</li> <li>学校家庭クラブとホームプロジェクトについて理解し、家庭科で学習したことを実践する態度が育つ。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。</li> </ul>	定期考查 授業態度 ワークシート 課題
				○		<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題について考えることができる。</li> </ul>	
					○	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の家庭生活や地域の生活に関心を持ち、意欲的に学習しようとする。</li> </ul>	
4 5	第1章 生涯を見通す	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した生活を営むために、生涯発達の視点から、ライフステージの特徴と課題を理解する。</li> <li>生活課題に対して、意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。</li> </ul>	
				○		<ul style="list-style-type: none"> <li>自立への課題と関連付けながら自身の将来について考えをまとめることができる。</li> </ul>	
					○	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の自分や、将来の生活設計を考えることを、意欲を持って取り組んでいる。</li> </ul>	
5 6	第2章 人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会制度としての家族や家族と法律を理解するとともに、様々な生き方について考える。</li> <li>家事労働・職業労働について理解し、家庭や社会における男女の共同とワーク・ライフ・バランスについて考える。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の課題について理解を深めている。</li> </ul>	
				○		<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の形、家庭の在り方や役割について、変化の背景と絡めて考えることができる。</li> </ul>	
					○	<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚、家族・家族の形、家族・家庭の役割について、自分との関りを含め、興味関心を持つようとしている。</li> </ul>	
6	第3章 子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の心身の特徴と発達について理解し、子どもの親・家族・周囲の人々との関わり大切さを学ぶ。</li> <li>子どもを取り巻く社会変化の現状を理解し、子育て支援の在り方を考える。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の心身の特徴や発達について理解し、乳幼児と関わるための基本的技能を身に付けている。</li> </ul>	
				○		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを生み育てることの意義や、子どもを取り巻く課題と解決策について考えることができる。</li> </ul>	
					○	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命の尊さや子どもを生み育てることの意義、子どもを取り巻く問題などについて、自分の現在・将来と結び付けながら考えようとする。</li> </ul>	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
7	第4章 高齢社会を生きる	・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の特徴を理解する。 ・高齢者福祉制度について学び、課題を考える。	○			・高齢者の心身の特徴について理解している。 ・高齢者を取り巻く課題について、改善に向けた取り組みを具体的に考えることができる。 ・高齢者を取り巻く問題などについて、自分の現在・将来と結び付けながら考えようとする。	定期考査 授業態度 ワークシート 課題
9	第5章 共に生き、共に支える	・一生を通じた社会保障制度を理解する。 ・ノーマライゼーションの実現に向けて実践的な態度を身に付ける。	○			・年金・健康保険・雇用保険や、福祉制度など、生涯の社会保障制度について理解している。 ・多様な人々と共存し、助け合っていくために必要な能力や方法について考えることができる。 ・多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域の役割について考えようとする。	
9 10	第6章 食生活をつくる	・栄養と健康の関係を理解し、日常の食生活を改善していく態度を身に付ける。 ・調理に必要な基本的知識と技術を習得する。 ・生涯を通して健康・安全で持続可能な食生活を営めるようになる。	○			・日常の食生活が重要であることを理解し、栄養や調理の基礎的知識を身に付けている。 ・食に関わる安全・環境・健康などの問題や自己の食生活の問題について思考し、望ましい食生活の在り方を考えることができる。 ・自分自身の食生活について関心を持ち、意欲的に改善・向上に努めようとする。	
11	第7章 衣生活をつくる	・被服の役割を理解し、適切な被服の選択ができるようになる。 ・被服材料の種類と特徴や被服の管理方法を理解し、入手・管理において知識を活用できるようになる。 ・持続可能な衣生活について考える。	○			・被服材料の特徴や管理の方法などを理解し、好ましい被服選択や管理ができるようになる。 ・衣生活に関わる安全・環境・健康などの問題について思考し、望ましい衣生活の在り方を考えることができる。 ・自分の衣生活を取り巻く状況について関心を持ち、意欲的に改善・向上に努めようとする。	
12	第8章 住生活をつくる	・住居の機能・役割や間取りについて理解し、ライフステージや家族構成に応じた住まい方を選択できるようになる。 ・安全で環境に配慮した住生活を理解し、今後の課題を考える。	○			・住居の機能・役割、ライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 ・住生活に関わる安全・環境・健康の問題などについて思考し、望ましい住生活の在り方を考えることができる。 ・住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。	
1	第9章 経済生活を営む	・消費者には権利と責任があることについて理解し、消費者市民社会について考える。 ・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。	○			・消費者の権利と責任について理解し、現代の消費生活の課題を認識することができる。 ・消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考慮することができる。 ・消費行動や環境との関わりについて理解し、具体的に実践しようとする。	
2	第10章 持続可能な生活を営む	・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを考える。 ・持続可能な社会を目指した国際的な取り組みとその重要性について理解する。	○			・生活と環境の関わりや持続可能な消費について理解している。 ・消費行動と環境との関わりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断することができる。 ・持続可能な社会参画することへ意欲的に取り組もうとする。	
3	第11章 生活を設計する	・家庭基礎の学習を活かして、自分らしい生き方について考える。	○			・生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 ・家庭基礎で学んだ知識や技術を確認し、これからの人生を考え、設計できる。 ・自己の生活を積極的にマネジメントしようとする。	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツ理論	単位数	1単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	スポーツ概論(大修館書店)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	生涯を通してスポーツの推進及び発展に関わることができる資質・能力の育成を図るため、スポーツを実践するだけでなくとどまらず、「みる」、「支える」、「知る」という視点も含めて、広く、文化、経済、教育などの側面から捉え、スポーツ科学の研究成果を踏まえた教養を身に付ける
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けようとしている。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養おうとしている。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養おうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6	第1章 スポーツについて考えよう 1 スポーツの魅力について考えよう	・競技スポーツの魅力について理解する。 ・生涯スポーツの魅力について理解する。 ・スポーツの楽しみ方について理解する。	○			・スポーツの魅力について、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 発問評価
				○		・スポーツの魅力について、多角的な視点から課題の解決に向けて思考し判断するとともに、自らの考えを論理的に伝えることができる。	
					○	・スポーツの魅力について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
7 8	2 スポーツのこれからとこれまでに考えよう	・スポーツの起源について理解する。 ・スポーツの変容と発展について理解する。 ・これからのスポーツについて理解する。	○			・スポーツの起源について、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 発問評価
				○		・スポーツの起源や変容、発展について、多角的な視点から、課題の解決に向けて思考し判断するとともに、解決に向けた自らの考えを論理的に伝えることができる。	
					○	・スポーツ起源について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
9 10 11	3 現代スポーツの問題点を考えよう	・競技スポーツの問題点について理解する。 ・生涯スポーツの問題点について理解する。 ・スポーツの持続的発展と環境問題について理解する。	○			・競技スポーツや生涯スポーツの問題点について、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 発問評価
				○		・現代スポーツの問題点について、多角的な視点から、課題の解決に向けて思考し判断するとともに、解決に向けた自らの考えを論理的に伝えることができる。	
					○	・現代スポーツの問題点について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
12 1 2 3	4 スポーツと社会について考えよう 5 オリンピックとパラリンピック	・スポーツとグローバリゼーションについて理解する。 ・スポーツと振興制作について理解する。 ・スポーツと経済について理解する。 ・オリンピックについて理解する。 ・パラリンピックについて理解する。	○			・スポーツと社会について、理解したことを言ったり書いたりしている。	定期考査 授業態度 発問評価
				○		・スポーツと社会について、多角的な視点から、課題の解決に向けて思考し判断するとともに、解決に向けた自らの考えを論理的に伝えることができる。	
					○	・スポーツと社会について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
			○		・オリンピックやパラリンピックについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
		○		・オリンピックやパラリンピックについて、多角的な視点から、課題の解決に向けて思考し判断するとともに、解決に向けた自らの考えを論理的に伝えることができる。			
				○	・オリンピックとパラリンピックについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツA	単位数	1単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	Active Sports(大修館)

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。 ・スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解すること ・スポーツの推進及び発展に必要な技能を身につける
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解する。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	スポーツ外傷	・外傷の悪化を防いだり、痛みを緩和したりすることを理解する。	○			・外傷の種類を理解することができる。	定期考査 授業態度
				○		・外傷の悪化を防ぐ方法を適切に判断し活用することができる。	
					○	・スポーツ外傷の学習に主体的に取り組もうとしている。	
6 7	トレーニングの理論と実践	・トレーニングの理論を理解し実践の仕方を理解する。	○			・トレーニングの種類と役割を理解できる。	
				○		・トレーニングをプログラムすることができる。	
					○	・トレーニングの学習に主体的に取り組もうとしている。	
8 9 10	安全の確保と応急手当 (マリンスポーツ実習)	・救命救急法の講習やプール実習で習得した知識や技能を実習等に役立てる。	○			・実習の手順や方法が理解できる。	
				○		・習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用できる。	
					○	・安全の確保と応急手当に自主的に取り組むことができる	
11 12	基礎体力 (体力総合診断)	・専門種目の特性に応じた科学的なデータを得ることで今後のトレーニングの基礎資料として活用できることを理解する。	○			・測定する部位や器具について理解することができる。	
				○		・自分の体に関心を持つことができる。	
					○	・基礎体力診断に自主的に取り組むことができる。	
1 2 3	スポーツ栄養学 課題研究	・スポーツの多様な理論と実践に関する課題研究	○			・スポーツにおける栄養の役割を理解することができる。	
				○		・栄養とコンディション維持関連させることができる。	
					○	・課題研究に自主的に取り組むことができる	

令和8年度 年間学習指導計画案

科目	スポーツC	単位数	3単位	学年・学科・コース	1年・普通科・スポーツコース
使用教科書	なし			副教材等	なし

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。 ・採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに技能を身につける。 ・武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに技能を身につける。
---------	---

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
(陸上競技) 高まる体力やその高め方、運動を他者と学び合う際の動きや改善ポイントの示し方、仲間と継続的に活動するための調整の仕方を理解する。 (武道) 伝統的な考え方を踏まえて技能を発揮するとともに得意技等を用いた攻防を理解する。	(陸上競技) (武道) 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与することができるよう、運動実践につながる態度を養う。	(陸上競技) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする態度を養う。 (武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にすることを養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	(陸上競技) ・スプリントドリル	・(陸上競技) 採点競技への多様な関わり方を理解する。 ・(武道) 武道への多様な関わり方を理解する。	○			・(陸上競技) (武道) 他者と学び合う場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで表現できる。 ・(陸上競技) (武道) 発見した動きの改善点や効果的な改善策について、活動場面で判断して仲間に伝えることができる。 ・(陸上競技) (武道) 公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性に寄与する学習に意欲的に取り組むことができる。	授業態度
5	・SAQトレーニング			○			
6	・トレーニング理論 (武道)				○		
7	・武道としての礼法、作法 ・ランニングトレーニング ・技の研究			○			
8	(陸上競技) ・レジスタンストレーニング	・(陸上競技) (武道) 自己や仲間の課題を発見し判断する。	○			・(陸上競技) (武道) 体力や技能の程度、性別や目的の違いを超えてスポーツを楽しむために調整することができる。 ・(陸上競技) (武道) 映像や記録など客観的なデータから効果的な改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことの根拠を示し伝えることができる。 ・(陸上競技) (武道) 自他の状況及び環境の変化に応じた目的や活動の仕方に意欲的に取り組むことができる。	
9	・軽快走			○			
10	・ウエイトトレーニング (武道)				○		
11	・技の練習 ・ウエイトトレーニング ・得意技の開発				○		
12	(陸上競技) ・持久走	・(陸上競技) (武道) 公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めることができる。	○			・(陸上競技) (武道) 発表会や競技会などの目的に応じた企画。 ・(陸上競技) (武道) 練習会や競技会を行う場面で自己や仲間の活動を振り返りよりよいルールやマナーについて提案することができる。 ・(陸上競技) 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び練習の仕方やルールの修正などを大切にすることができる。 ・(武道) 相手を尊重し礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、禁止事項などの試合のルールを遵守しようとする事。	
1	・ウエイトトレーニング (武道)			○			
2	・技の練習 ・攻防の技術				○		
3	・ウエイトトレーニング			○			